

## QアンドA

今回もお客様よりいただいたご質問をいくつかご紹介いたします。

## 「ナンバープレートのボルトが変わった形状で外せない！専用工具はあるの？」

これは各メーカーの純正オプション部品として広く流通している「マックガード社」のナンバープレートロックボルトです。



盗難防止用に特殊形状のネジと専用レンチがセットとなっています。ひとつひとつの形状が微妙に違うため高い盗難防止力が期待できるボルトです。

その為現場ではナンバー-脱着作業が必要な際、工具がないので外せないケースがあります。基本的には車のユーザー様がレンチを管理されているはずなので、了承のうえでお借りして使用する必要があります。(ユーザー様に認識がなく車検証入れに入れっぱなしという場合もあります)。

比較的日産車の使用率が高いようで、日産の場合は「ピットワーク」ブランドでの流通となります(写真)。ホンダ車の場合は「ホンダアクセス」ブランドで、またトヨタ車をはじめ各社では純正部品扱いのようです。

こちらのように入台分のセットにボルトが3本、専用レンチが付属しており、ひとつひとつがコード管理されています(写真は一部処理してあります)。

取り外す際は専用レンチが無いからといって無理に外そうとして損傷させることのないようお気をつけください。



## QアンドA

## 「2液タイプの接着剤(3Mパネルボンドなど)が急に固くなるんだけど？」

いつもと同じ作業をしているのに、こう感じることはありませんか、あまりに硬すぎる場合、無理をするとプランジャー(ガン)が損傷することもありますのでご注意ください。これはズバリ気温の影響が大いえるようです。冬の冷え込みが続くと接着剤自体の粘度が大きく(硬く)なり、非常に出しづらくなってきます。こんな時は接着剤を少し暖めて使用してください。これは「液体の粘度は温度が上昇すると低下(柔らかくなる)する」という日常の体験でも感じとれる物理(?)の法則の応用です。これは塗料等の液体やシーラーなどのゲル状の物体全般に当てはまります。ご注意くださいのは混ぜる前に暖める 極端に熱くしない できれば被接着物(車体や部品)も暖める という点です。

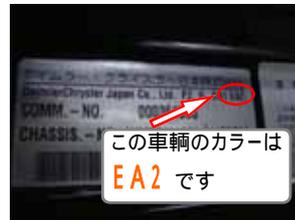
ちなみに同じ流体でも「気体」は、温度が上昇すると粘度も上昇するという逆の特性を持っているそうです。



## QアンドA

## 「スマートの色番号はどこに表示されている？」

前タイプのスマートの色番号は、右ドア開口部のボデー側ピラーに貼ってあるシールの右上に表示があります。



スマートの色見本は、2003年以降のオートページメントカラーのメルセデスベンツと同じページに掲載されています。

## QアンドA

## 「手持ちのスキャンツール 最新の車種に対応できないけど方法はないかな？」

プリウスに代表される昨今のハイブリッド車。スキャンツールがなくてはブレーキのエア抜きもままならない。そんな場面増えてませんか？ 現在多くのメーカーからスキャンツールが発売されており、能力・価格帯・対象車種により様々な機種が存在します。新たに購入を考える際は、やはり上記のハイブリッド車に対応できるものが条件になると思いますが、「数年前に購入したスキャンツールもまだ手元にあるしなぁ」という方も多いのではないのでしょうか。そこでご提案！メーカーによってはバージョンアップにより対応できるケースもありますので、ぜひ一度確認されてはいかがでしょうか。一例として比較的過去出荷量の多かった「ワズインク社」のコードリーダーでは有償ですが、旧モデルの3110jや3111jpを最新機種である3250jに、メーカーにて預かりのうえ基板交換などでバージョンアップすることができるそうです。

